

■大項目にかかる評価

【評価点】
S：特筆すべき進捗状況
A：計画どおり
B：おおむね計画どおり
C：やや遅れている
D：重大な改善事項あり

(参考：小項目の評価点)
V：計画を大幅に上回って実施している
IV：計画を上回って実施している
III：計画を順調に実施している
II：計画を十分実施できていない
I：計画を大幅に下回っている。

【小項目評価（V～I）の大項目評価（S～D）への反映の考え方】
●小項目について、おおむねⅢの評価であれば、大項目はB評価を基本とする。
●大項目について、B以外の評価を行う場合は、小項目の評価でⅣ以上の高評価・Ⅱ以下の低評価となっている項目について、中期目標に占めるウエイト等を考慮し、総合的に判断し、その理由を示す。

大項目	番号	内容	詳細（中期目標より）	市長評価（案）				評価委員会意見 （要旨）					
				大項目		小項目							
				評価点	評価の理由	番号	評価						
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	1	動物展示の充実と快適な園内環境の創出による動物園の魅力向上	・多くの方に来園したいと思っていただけるよう、展示動物の充実により動物園の魅力を向上させるとともにその魅力発信を強化する。 ・再度来園したいと思っていただけるよう、快適な園内環境を創出する等、来園者満足度を高めるための園内サービスの充実を図る。	A	・Twitterを新たに開設するなど、魅力発信の観点で計画以上の取組が行えている。 ・また、園内サービスの充実の基本であるホスピタリティマインドが、少しずつ醸成出来てきているようである。 ・初年度として、順調に進捗しており、A評価とする。	1	Ⅳ	・項目10（情報提供）については、いかに発信を行ったかで評価すべき。 ・項目12（ホスピタリティ研修）は研修を行うことが目的ではなく、来園者満足度の向上が最終目標であることに留意すべき。					
						2	Ⅳ						
						3	Ⅲ						
						4	Ⅲ						
						5	Ⅲ						
						6	Ⅲ						
						7	Ⅳ						
						8	Ⅳ						
						9	Ⅲ						
						10	Ⅲ						
						11	Ⅲ						
						12	Ⅳ						
						13	Ⅲ						
						14	Ⅲ						
						15	Ⅲ						
						16	Ⅳ						
						17	Ⅳ						
	2	動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進	・教育普及機能を強化し、飼育動物の生態のみならず、野生動物を取り巻く地球規模の環境問題も視野に教育普及活動を行い、来園者の行動変容に繋げる。	B	・教育活動の基本となる「教育普及アクションプログラム」を策定し、最終的な目標である今後の行動変容に繋げる第一歩を踏み出しており、おおむね計画どおりと評価する。	18	Ⅲ						
						19	Ⅲ						
						20	Ⅲ						
						21	Ⅲ						
						22	Ⅲ						
						23	Ⅲ						
						24	Ⅲ						
						25	Ⅲ						
3	動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立	・動物園の主役である動物たちが健康で幸せに暮らせる環境を創出するために、飼育管理機能を強化する。 ・飼育技術を継承・高度化するとともに、世界に通用する飼育基準に適合した獣舎整備を推進する。	A	・中期目標で動物園経営における最重要事項としている動物福祉に関しての取組で実績を上げており、飼育管理機能の強化が順調に行えておりA評価に値するものと評価する。	26	Ⅲ	・項目27・28（動物福祉の取組み）は結果が出ている印象						
					27	Ⅳ							
					28	Ⅳ							
					29	Ⅲ							
					30	Ⅲ							
					31	Ⅲ							
					32	Ⅲ							
					33	Ⅲ							
4	繁殖及び調査研究活動の推進	・飼育動物の維持・充実とともに、生息域外保全という観点から種の保存に貢献するため、繁殖技術の向上を図る。 ・動物の生態に係る各種調査研究活動を推進することで国内外の動物園からの信頼を高める。	A	・クラウドファンディングという新たな取組で、最終的な目標である種の保存へ貢献するための繁殖活動の推進への足掛かりを作ったことは評価でき、A評価に値するものと評価する。	34	Ⅲ	・項目36（ニホンイシガメの保全）は、クラウドファンディングはあくまでも手段である。						
					35	Ⅲ							
					36	Ⅳ							
					37	Ⅳ							
					38	Ⅲ							
					39	Ⅳ							
					40	Ⅲ							
					41	Ⅲ							
					42	Ⅲ							
					43	Ⅲ							
					44	Ⅳ							
					2 効率化業務に運営する改善項及び	1		自律的な組織経営	・機動的な組織体制の構築 ・適材適所の柔軟な人事配置	B	・点検する仕組みも構築し、現時点ではおおむね計画どおり。	45	Ⅲ
46	Ⅲ												
47	Ⅳ												
2	人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起	・人材の確保・育成 ・職員の能力向上と意欲喚起	B	・インセンティブが働く仕組みの構築が課題ではあるが、初年度としては、おおむね計画どおりの取組が行えている。		48	Ⅳ	・職員の意欲喚起という点で、インセンティブが働く仕組みの構築が必要					
						49	Ⅳ						
						50	Ⅲ						
						51	Ⅲ						
						52	Ⅲ						
						53	Ⅲ						
3	効果的・効率的な業務執行	・PDCAサイクルの確立 ・ICTの導入及び活用	B	・基本的な体制構築はできており、現時点ではおおむね計画どおり。		54	Ⅲ						
						55	Ⅲ						
						56	Ⅲ						
						57	Ⅲ						
3 財務内容の改善に関する事項	1	収入の確保	・着実に入園料収入を確保する。 ・戦略的な渉外営業や魅力的なグッズ開発等の入園料外収入の確保に努める。	B	・物品の寄附など実績を上げており、おおむね計画どおりといえる。	58	Ⅳ	・55（入園者数）は予算算定時にコロナ影響を加味しているなら、それをベースに評価すべき。 ・56（ファンクラブ）は会費収入よりも応援団を増やすことが重要。					
						59	Ⅲ						
						60	Ⅳ						
						2	経費の節減		・業務内容の精査により、経費節減に努める。 ・投資についても、経費の抑制に努める。	B	・投資的経費への経費抑制効果の発現が今後の課題であるものの、現時点ではおおむね計画どおりと言える。	61	Ⅲ
												62	Ⅲ

大項目	番号	内容	詳細（中期目標より）	市長評価（案）				評価委員会意見 （要旨）
				大項目		小項目		
				評価点	評価の理由	番号	評価	
4 その他業務運営に関する重要事項	1	内部統制の強化	・法人が適切に業務を運営していくため、内部統制の確立・強化に必要な環境を整備する。	B	・設立初年度にめざすところである基本的な制度構築は行えており、おおむね計画どおりと言える	63	Ⅲ	
						64	Ⅲ	
						65	Ⅲ	
						66	Ⅲ	
						67	Ⅲ	
						68	Ⅲ	
						69	Ⅲ	
						70	Ⅲ	
						71	Ⅲ	
	2	来園者の安全確保	・施設を適正に維持管理するとともに、計画的に施設の整備を推進する。	B	・今後は施設整備の計画的な推進に留意する必要があるが、現時点ではおおむね計画どおりと言える。	72	Ⅲ	
						73	Ⅲ	
						74	Ⅲ	
						75	Ⅲ	
	3	職員の安全衛生管理	・安全対策の徹底と事故防止に努める。 ・職員が心身ともに健康を保持し、その能力を十分発揮できる職場環境づくりに努める。	B	・現時点ではおおむね計画どおりと言える。	76	Ⅲ	
						77	Ⅲ	
	4	環境に配慮した取組の推進	・環境に配慮した取組を推進する。	B	・現時点ではおおむね計画どおりと言える。	78	Ⅲ	
	5	情報公開の推進	・毎年の業務実績報告書等により情報公開を推進する。	B	・現時点ではおおむね計画どおりと言える。	79	Ⅲ	
	6	B C Pの策定	・B C P（事業継続計画）を策定し、重大事故等の危機事象が発生した際の体制を構築する。	B	・現時点ではおおむね計画どおりと言える。	80	Ⅲ	

■全体評価

- 各項目の評価を踏まえ、記述式で評価。
- 年度計画の項目にはないが、中期目標の達成に資するものがあれば、ここで評価を行う。

【市長評価】
全体を通して、おおむね法人設立初年度の計画どおりに進捗できている。中でも動物福祉にかかる取組を大幅に拡充したり、クラウドファンディングなどの新たな取組を行ったことなどが特に評価に値する。 今後も中期目標の達成に向けた取組を継続するとともに、更なる内容の充実や見直しなど、P D C Aサイクルを活用した業務改善を行っていただくとともに、独法化のメリットの発現や職員にインセンティブが働く仕組みの構築など、更なる発展をめざしていただきたい。

【評価委員会意見（要旨）】